

平成 2 9 年

第 4 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 9 年 1 1 月 3 0 日

平成29年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇仙北市学校適正配置について

学校適正配置の検討に関する基本方針を基に、今後の進め方等について教育委員会で検討を重ねてきたことについて、11月9日に開催された仙北市総合教育会議に報告し、協議いたしました。会議では、今後さらに議論する必要があるとして、引き続き教育委員会、総合教育会議で協議することといたしました。

◇全国学力学習状況調査の結果について

8月28日、全国学力学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されました。この調査は4月18日に、小学校6年生と中学校3年生を対象に、国公立の小・中学校が全て参加して全国一斉に実施されたもので、本市でも小学校7校、中学校5校が参加しております。

公表された内容によりますと、秋田県は小・中学校ともに、10年連続で全国トップレベルという結果がでております。

本市の小・中学校の結果も報告されており、調査対象の国語及び算数・数学について、小学校、中学校とも全国平均を上回り、概ね良好な結果となっております。

現在、北浦教育文化研究所が学習習慣や学習環境等に関する調査結果を含めた、学習全体の分析を行っており、今後、研究所指導主事が成果と課題を踏まえた授業の改善に向けて、各校での取り組みを指導・支援して参ります。

◇総合給食センター建設事業について

11月6日に行われた、総合給食センター基本設計業務委託についてのプロポーザルの結果、「有限会社 村田弘建築設計事務所」と契約金額7,992,000円で契約を締結しました。平成30

年3月20日基本設計完成を目指し進めて参ります。

◇秋田県学校関係緑化コンクール知事賞の受賞について

神代小学校が、平成29年度秋田県学校関係緑化コンクールの学校環境緑化の部において、最優秀賞である知事賞を受賞しました。

このコンクールは、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に、緑化教育等に取り組んでいる学校を表彰するものです。特に、学校環境、花壇活動、菜園活動、緑化教育などの取り組みが、総合的に審査されるもので、学校の教育活動全体で環境教育に取り組む熱意と質の高さが評価されたものです。

神代小学校は、全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部の県の推薦校となり、中央審査会において更に審査されることになりました。

◇地域活性化中学生選手権について

9月30日、思い出の潟分校において、秋田魁新報社・仙北市主催の「仙北活性化中学生選手権」が開催されました。これは、「ふるさと彩発見 さきがけ in 仙北」の一環として行われ、地元企業を訪問して事業内容などを学習した市内5校の中学生代表が、個性豊かな地域活性化のアイデアを発表したものです。どの学校の発表も子供らしい斬新な提案で、聴衆からは、何度も感嘆の声が聞かれました。特に、武家屋敷を活用した観光体験メニューを提案した角館中学校が見事、最優秀賞に選ばれました。

◇MOA美術館奨励賞の受賞について

10月8日、大仙市大曲交流センターで、第29回MOA美術館（エムオーエー美術館、MOA Mokichi Okada Associates）県南地区児童作品展の表彰式が行われ、絵画の部で西明寺小学校4年佐藤拓実（たくみ）さんの作品「青空と電車」が、書写の部で西明寺小学校6年佐藤優美（ゆうみ）さんの作品「努力」が、それぞれ最高賞にあ

たるMOA美術館奨励賞を受賞しました。なお、出品作品総数は絵画が387点、書写が94点でした。

今後とも、児童生徒の豊かな感性を生かした表現活動の育成に努めて参ります。

◇市内小・中学校の給食への地元産マイタケ提供について

9月28日（角館地区）と10月3日（田沢湖・西木地区）、市内の小・中学校12校と、大曲支援学校せんぼく校の給食で、地元産の「原木マイタケ」が振る舞われました。

このマイタケは、白岩地域運営体（菅原秀俊会長）が栽培したもので、17kgが提供されました。田沢湖学校給食センターでは、マイタケとなめこ入りの味噌汁を365食、角館学校給食センターでは、マイタケ入り天ぷらうどんを861食、西木学校給食センターでは、マイタケ入り中華スープを334食提供し、各学校の児童生徒は、地元で栽培された安心・安全なマイタケを笑顔いっぱい味わいました。

◇各種研究大会について

9月22日、白岩小学校を会場に「給食のひみつ 学んで 知って もっとおいしく」をテーマに大曲仙北学校給食指導研究会が開催されました。

当日は、大曲仙北の学校給食に携わる教職員が集い、公開授業や分科会が行われました。公開授業では、子どもたちがこれまで学習してきた「栄養」、「マナー」、「感謝」の3点について、食に関する知識、マナーの向上、生産者や作り手側からの思いなどを元気いっぱい発表しました。

10月24日、西明寺小学校・西明寺中学校を会場に「道徳性を養うために行う道徳科における学習はどうあればよいか」をテーマに大曲仙北道徳教育研究大会が、神代小学校を会場に「一人ひとりのニーズに応える特別支援教育の充実」をテーマに大曲仙北特別支援教育研究大会が開催されました。どちらの会場でも、子どもたち

がじっくりと考え、生き生きと学習に取り組む姿が見られました。

11月2日、角館小学校を会場に、第34回東北地区小学校特別活動研究協議会秋田大会兼第28回秋田県特別活動研究協議会大曲仙北大会が開催されました。

当日は、角館小学校及び角館中学校の全学年の授業が公開され、子どもたちは、どうすればよりよい学級になるかといった内容について真剣に考え、他の意見も尊重しながら、合意形成に向けて活発に発表し合いました。

北海道や静岡県といった遠方からの参加者を含め、400人近くの参会者がありました。仙北市教育研究会研究大会と兼ねることにより仙北市内小中学校の教職員も全員参加し、授業参観のあとは、熱心な研究協議が行われました。

また、前文部科学省初等中等局視学官、現國學院大學人間開発学部の杉田 洋(ひろし)教授からのご指導とご講演をいただき、角館小・中学校の実践に高い評価をいただきました。

11月14日、生保内小学校を会場に、平成29・30年度国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業、中間公開授業研究会が開催されました。

当日は、生保内小学校の全学年の生活科と総合的な学習の時間の授業が公開され、子どもたちは、自ら課題をもち、具体的な活動や体験、他者との関わりなどを通して、意欲的に活動に取り組み、学びを深めることができました。

また、文部科学省初等中等局教育課程の渋谷一典(かずのり)調査官からのご指導とご講演をいただき、生保内小学校の実践への高い評価と、来年度の東北大会への期待をお話しいただきました。

◇市内中学生の活躍について

8月29日、第47回大曲・仙北田沢湖一周駅伝競走大会が開催され、男子の部では、角館中学校Aチームが優勝、女子の部でも角館中学校Aチームが準優勝という素晴らしい成績を収めました。

9月2日、鹿角市運動公園で第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会秋田県予選会が開催され、ジャベリックスロー男子の部で神代中学校3年藤井優矢（ゆうや）さんが見事優勝し、横浜市日産スタジアムで開催される第48回ジュニア陸上競技大会への出場権を獲得しました。

9月16日からは、平成29年度大曲仙北中学校新人総合体育大会が開催されました。団体の部の主な成績としては、柔道男子団体戦で角館中学校が見事優勝、同じく神代中学校が準優勝に輝いております。この他にも、卓球男子団体戦で角館中学校と神代中学校が第3位、剣道女子団体戦で角館中学校が準優勝となり、全県大会への出場を決めております。個人の部においても、各種目で健闘し、26名が全県大会への出場権を獲得しました。

9月24日には、県立中央公園スポーツゾーン（雄和）において、第66回県中学校総合体育大会駅伝競走大会が開催され、角館中学校女子チームが準優勝、同じく角館中学校男子チームが5位に入賞しました。

9月30日には、鹿角市総合運動公園において全県新人陸上競技大会が開催され、1年女子1500mの部で、西明寺中学校の柏谷星来（せら）さんが4分59秒83の記録で第2位となりました。

11月11日から12日にかけて、中学校全県新人大会が開催されました。駅伝では、男子の部で角館中学校Aチームが見事全県優勝を果たし、女子の部でも角館中学校Aチームが第5位という素晴らしい成績を収めました。柔道では、男子団体の部で角館中学校が第3位に、個人の部でも、男子50kg級で角館中学校1年の黒澤要（かなめ）さんが準優勝、同じく66kg級で角館中学校2年の鎌田匠人（しょうと）さんが準優勝という成績を収めました。バドミントン競技では、生保内中2年の三浦悠（ゆう）さんが、個人戦で第3位に入賞しました。三浦さんは、秋田県バドミントン協会強化指定選手にもなっており、12月26日から28日にかけて、青森県弘前市で開催される東北大会での活躍にも期待したいと思います。

【生涯学習課】

◇花のある街づくりコンクールについて

4回目を迎える「仙北市花のある街づくりコンクール」は、今年により多くの市民から応募いただけるよう、応募期間を8月末までに延長したところ、個人、団体、地域環境、企業の各部門に、昨年より3件多い20件の応募がありました。

コンクールの審査には仙北市生涯学習奨励員があたり、花の盛りの時期である7月と9月に応募花壇を訪れ現地審査を行い部門毎に最優秀賞をはじめとする各賞を決定いたしました。

表彰式は、10月28日に仙北市田沢湖地区文化祭会場内にて開催し、角館地区、西木地区の文化祭会場にも、関連パネルを展示しました。

今後も花づくりを通して、市民の心の豊かさを育み、交流の場の拡大と市全体が花に彩られた街になることを目指して、花いっぱい運動推進事業を推進して参ります。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

今年も、各地区において、仙北市文化祭が盛大に開催されました。

田沢湖地区は10月28日・29日に生保内市民体育館で、西木地区は11月3日に西木林業者等健康増進施設で、角館地区は11月4日・5日に角館交流センターを会場に、各地区文化祭実行委員会や芸術・文化団体等が一丸となり開催されております。

各地区それぞれ特色があり、日頃の芸術文化活動の成果や作品展示、芸能発表など多数披露され、3地区で延べ1,500人ほどが会場へ足を運び、芸術文化に親しみました。

今後も、市民の芸術文化活動を促進し、その成果を発表する場を積極的に設けて参ります。

【市民会館】

◇陸上自衛隊第9音楽隊コンサートについて

11月5日、陸上自衛隊第9音楽隊のコンサートが開催されました。

入場整理券の配布は10月19日から田沢湖図書館及び市内各地域センターで行い、5日当日は約900人の市民の方々にコンサートにお出でいただきました。

自衛隊音楽隊のコンサートは、毎年市民の方々に大変好評で、かつ音楽隊のメンバーも、仙北市での演奏を大変楽しみにしていると同っております。

災害や遭難以外にも、仙北市は各種スポーツ大会などで自衛隊の皆様のお世話になっており、今後ともこの良好な関係を継続できるよう努力して参ります。

【田沢湖図書館】

◇「お休みの日のとしょかんを親子だけに特別解放」について

田沢湖図書館では、通常休館日の10月9日、0歳～3歳の親子だけに図書館を開放する、特別イベントを実施しました。

午前10時から午後3時の間、10組29人の親子連れが、他の利用者に気兼ねすることなく、ゆっくりと絵本を読んだり、おもちゃで遊んだり図書館を満喫しました。

当日は、谷京子さんの読み聞かせや、幼稚園教諭との遊びの時間もあり、子どもたちの大きな歓声に包まれた初の試みは大盛況で終わりました。

今後も、読書普及・利用者拡大のために様々な試みを続けて参ります。

◇「田沢湖図書館 Xmasのいちにち」について

12月16日を「Xmasのいちにち」として、午前・午後それぞれにイベントを開催します。

午前10時から、こどもたちや親子を対象とする「谷京子&ア

トリエの読み聞かせコンサート」を実施します。素敵なクリスマスデコレーションを施し、絵本の読み聞かせ・ミニコンサート・紙芝居等楽しさ満載の内容です。

午後6時から、恒例のXmasロビーコンサートを実施します。こちらは、大人向けの内容で、今年は「Chapel de Noel」と題し、教会を舞台に一層クリスマスらしい内容を計画しています。

これらは、図書館のコンサートとして定着しており、入場者も増えてきておりますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

【学習資料館・イベント交流館】

◇イベント交流館企画展示について

7月25日から11月26日まで新潮社記念文学館で開催された「自由律俳句展」では、著名な提唱者である河東碧梧桐（かわひがし へきごとう）や、荻原井泉水（おぎわら せいせんすい）を始め、明治大正昭和の地元俳人の作品や地元新聞による紹介記事などを多数展示しました。1,611人の来館者からは、当時を懐かむ声もきかれ好評のうちに終了しました。

12月2日から3月30日までは、新収蔵品展「高井有一展」を開催します。この展覧会では、今年ご遺族から寄贈された高井有一氏旧蔵資料から直筆原稿、書籍、雑誌など約100点を展示します。同じく初公開の「高井有一書斎」を再現した展示スペースでは、愛用品とともに旧蔵書約4,000冊を展示します。

今後当館は、高井有一文庫を所蔵し、公開していく全国唯一の施設となりますので、市内外から多くの方々にご来館いただくよう広く発信に努めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇仙北市総合体育館の建設について

総合体育館の建設については、円滑な事業推進を図るため、建設検討委員会を設置し、集約された提言書を検証しながら基本計画の

作成に向け準備を進めています。この基本計画を踏まえ、懸念される建設財源の確保や防災、管理運営方法等に関する情報収集を行い、多種多様なニーズに対応できる機能的な施設となるよう建設検討委員会等で複眼的に検討を加え、総合教育会議で協議を行うこととしています。

◇国民体育大会・ジャパンカップでの活躍について

9月に高知県本山町で開催された、第72回国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」のカヌー競技において、仙北市に係る選手が大活躍しました。

佐藤彩乃（あやの）選手（秋田病理組織細胞診研究センター）が、成年女子スラロームカナディアンシングルの25ゲートと15ゲートで、安定した技術と巧みなパドルさばきを見せ、2種目で初優勝という栄冠を手にしました。

成年男子スラロームカヤックシングルで佐々木翼（つばさ）選手（鶴の湯温泉）が、カナディアンシングルで佐々木翼（つばさ）選手（万六建設）が、25ゲートと15ゲートの2種目で、共に準優勝に輝きました。

佐々木優（すぐる）選手（県体育協会）が、成年男子ワイルドウォーターカヤックシングルのスプリントで3位、1,500mで7位入賞。鈴木恵子選手（クリナップ）が、成年女子スラロームカヤックシングルの15ゲートで8位に入賞するなど、大活躍しました。

また、先月、岐阜県で開催されたスラロームの2017ジャパンカップ最終戦で、男子カヤックシングルで佐々木翼選手（鶴の湯温泉）が優勝、同カナディアンシングルで佐々木優選手（県体育協会）が3位に入賞しました。

選手の皆さんは、地元のカヌーコースで練習に励みながら、国体やジャパンカップなど、大きな舞台で見事栄光に輝きました。

今後、さらなる活躍を期待するとともに、カヌー競技の環境整備

を進め、小、中学生など、次世代選手の発掘や育成につながるよう取り組んで参ります。

【文化財課】

◇武家屋敷公開事業の冬期閉館について

4月から武家屋敷公開事業で公開しておりました各武家屋敷ですが、河原田家につきましては、河原田家改修工事（第1期工事）の主屋屋根改修工事実施に伴い、安全対策のため10月16日から公開を休止とさせていただきます。

松本家が11月5日、岩橋家と小田野家については11月30日で今年度の公開が終了します。

なお、岩橋家では、かくのだて歴史案内人による「冬がたり」が、12月から3月までの毎週金・土・日・祝日等に、一日2回開催される予定です。

【平福記念美術館】

◇「没後40年 荒川青亭日本画展」について

8月1日から9月24日まで「没後40年 荒川青亭日本画展」を開催いたしました。

今年は荒川青亭没後40年ということで、青亭の業績を広く紹介したいという思いから、故郷の美しい風景など郷土への思い溢れる作品を多く展示したところ、期間中市内外から1,700人の皆様に来館いただきました。

◇「生誕140年平福百穂展－画人百穂と歌人百穂－」について

10月1日から11月19日までは、「生誕140年平福百穂展－画人百穂と歌人百穂－」を開催しました。

今年は百穂生誕140年ということで、日本画作品と、遠く四国愛媛県松山市にある松山市立子規記念博物館のご協力を得て、アララギ派歌人らとの交流を知る貴重な作品等も展示しました。

1日のオープニングセレモニーには、平福百穂のご遺族を始め、作品を借用したアララギ派歌人中村憲吉の孫、中村憲氏にもご参加いただき、中村氏からは中村憲吉の生涯や百穂との関わりについての貴重なお話をしていただきました。

会期中は、市内外から1,375人の皆様にご来館いただきました。

◇児童生徒県南美術展について

12月2日から来年1月28日まで、「第40回児童生徒県南美術展」を開催いたします。

子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に昭和53年より実施しているもので、今年で第40回を迎えるこの美術展は、冬の児童生徒美術展として恒例となっております。子どもたちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ともご覧いただきたく、皆様のご来館をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。